

タイトル『おかし僕が死んだ家』

著者：東野圭吾

出版社：講談社文庫

私はこの本のタイトル「おかし僕が死んだ家」が
気になってこの本を選みました。

昔っていつ？ 僕が死んだってなに？
どんな家？

そう思い手に取りました。

この本はこんなところに伏線があったのか
みたいな部分が多いので一回だけ読んで
おわりではなく伏線を探してみようなど
違う楽しみ方でこの本を読んでみて
ほしいです。

投稿日 2024年 8月 2日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

89

年齢

17

仙台市

YAコーナー